

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表（2022年）

アンケート配布：2022年11月～12月
集計：2023年1月
回答率：32.6%

		質問事項	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	回答
環境 体制 整備	1	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	92.9 %	7.1 %			トレーニング内容や生徒に合わせて、テーブルの配置や場所を変更してスペースを確保している。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	85.7 %	14.3 %			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	57.1 %	35.7 %	7.1 %		事業所が2階にあるため、手すりを設置している。貼り紙を掲示している。
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	100 %				
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100 %				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	21.4 %	50 %	28.6 %	個別のみを受けているのでわかりません。	感染症が落ち着き次第、将来の社会的な自立を目指すためにも関わるきっかけを作っていきたい。（お出かけイベントの時など関わりを持てる機会を大切に。）会報を充実させ、活動内容をより具体的に伝えていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100 %				
	8	日頃の子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92.9 %	7.1 %		以前よりできるようになった印象がある。	余暇時間や面談で子どもの状況を伝え合い、共通理解を深めていくとともに、スタッフ間での共有も密に行っていく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	78.6 %	21.4 %			面談や声掛けは引き続き実施し、専門性を活かし助言もより一層行う。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21.4 %	50 %	28.6 %	コロナ禍であるため、まだ難しいかもしれません。	感染症が落ち着き次第、保護者同士交流できる機会をなるべく作っていく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92.9 %	7.1 %			苦情の際は真摯に受け止め、より良い教室作りに励んでいく。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	92.9 %	7.1 %		以前より配慮されるようになったと感じ、有難く思う。	今後も意思の疎通を積極的に測り、職員間での情報共有を密に行っていく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか	85.7 %	7.1 %	7.1 %		
	14	個人情報に十分注意しているか	100 %				個人情報の取り扱いに関しては、十分に注意していく。
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	85.7 %	14.3 %			教室にハザードマップを掲示したり、マニュアルの冊子を本棚に用意している。会報に情報を出したり、避難訓練への参加の声掛けをして周知を徹底していきたい。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	85.7 %	14.3 %			年2回避難訓練を行っている。また、安全管理のトレーニングも併せて行っている。
満 足 度	17	子どもの通所を楽しみにしているか	100 %			ルーティン化しています。	今後も楽しく来所していただけるように教室を運営していく。
	18	事業所の支援に満足しているか	92.9 %	7.1 %			現状に満足せず、より良い教室作りに努めていく。